



ケアサポート志保 いほっこいだよ

株式会社 志保
富士宮市野中1044-3
TEL : 0544-22-0166
FAX : 0544-66-4722
監修 石川

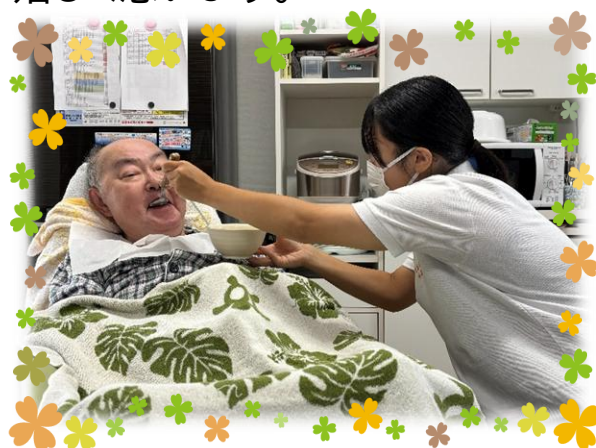
発行日
R8.9.7

まだまだ厳しい残暑が続いておりますが、みなさまでどうお過ごしでしょうか。少し前のことになりますが、7月末の志保では、富士宮市にある県立富岳館高等学校の福祉科3年生の生徒さんが、3日間職業体験に来られました!富士宮市内にもたくさん施設が増えていますが、医療的ケアに特化したこのケアサポート志保を選び訪れてくれたことは本当に嬉しく思います。



←視線入力体験中
頑張っています!

食事介助体験→
可愛い高校生に
ニコニコ笑顔な
ご入居者様♡



志保のご入居者様には重度障害の方が多いため、簡単に意思疎通を図る事はとても難しい事です。口で話す代わりに、紙やホワイトボード、タブレットなどに文字を書いて意思を伝えあう筆談、発語や手の動きが難しい方が視線や瞬きを用いて言葉を伝える文字盤、目や指先などのわずかな身体の動きだけで自分の意思を伝えるイヤイズ(意思伝達装置)、を活用してコミュニケーションを図っています。

今回の職業体験で、実際の現場でご入居者様との交流や見学を通して、志保の魅力をたくさん知ってもらえたら嬉しいです♡



またいつでも志保に
遊びに来てくださいね~!



ありがとう
ございました

現在のケアサポート

・グループホーム

残り

空き状況

2室

・訪問介護

空き状況

あい

平日の医療的ケア(喀痰吸引や経管栄養)が必要な方の訪問介護も可能です！

すてきなご縁に感謝です

以前、都立神経病院のマイボイス外来に通院していた会長

その時の会長の担当医であった本間先生が志保へ

本間先生は、以前都立神経病院でご勤務をされていましたが、定年退職後に障害支援のための起業をされました。



マイボイスとは・・・

声を失う前に録音した五十音のサンプル音声を組み合わせ、自分の声で会話できるようにするソフトのことです。

現在は都立神経病院での【マイボイス】の録音や対応は終了しているようですが、ソフト自体はネット上で公開されているようですので、ご興味のある方はぜひ検索してみてください！

そして、声は自分の顔と同じくらい大切な自分の一部です。気持ちは、言葉以外にも行動や物、お金でも伝える事ができますが、言葉にして伝える事は心にすごく響きます。毎日の小さな日常は特別ではありません。大切な事は、まず自分の気持ちを知る、その気持ちを誰に伝えたいのか、ということだと思います。言葉や行動、物やお金、自分に合った方法で、自分らしく！自分の気持ちを大切な人に伝えやすい世界になるといいですね。

～お問い合わせはこちら～

TEL:0544-22-0166 FAX:0544-66-4722

Mail:keasaportshiho@yahoo.co.jp



志保HP



ブログ

編集後記

9月に入りましたが、日中はまだまだ暑い日が続いています。日本各地での突然の雷雨などの自然災害も心配な今日この頃。9月は町内での防災訓練もあるかと思いますが、志保でも消火器の場所の確認や災害時の対応について、施設内研修を行いました。災害時に困る事のないように、日ごろから対策・準備が大切ですね。